

2026(令和8)年度 北九州市立大学大学院
社会システム研究科(博士前期課程)
地域コミュニティ専攻 入学試験

【夏期日程】

専門問題

1. 試験時間 11:00 ~ 12:30
2. 試験問題 … 自分の選択した分野を解答すること。
 - 1 コミュニティ基礎 …………… 1 P
 - 2 コミュニティ実践 …………… 2 P
 - 3 フィールド文化 …………… 4 P

注意事項

1. 指示するまで開けないこと。
2. 自分の選択した分野の変更は認めない。
3. 試験開始後、所定の箇所に受験番号を記入すること。
4. 試験問題、解答用紙は持ち出さないこと。
5. 試験終了までの途中退出は認めない。
6. 試験終了後は、問題用紙、解答用紙を裏返しにして待機すること。

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

【コミュニティ基礎専門試験問題】

次の1～3のうち、三つの設問を解答しなさい。

1 「社会教育」とは何か説明しなさい。

2 社会教育施設とは何か説明し、その上で公民館（もしくは博物館、あるいは図書館のいずれかでもよい）を取りあげ、その現状と課題について述べなさい。（*取り上げる際は、北九州市を事例にする場合、市民福祉センターや市民センターでも構わない）

3 ●●教育（環境教育、国際理解教育、多文化共生教育など●●は何でもよい。最初に「●●教育について説明します。」を明示すること）は、どのような教育であるか、時代的変遷もあわせて説明し、地域での実践例について（どの時期、場所の実践例でもよい。説明として取り上げた●●教育に関わる同じ実践例であること）具体的に紹介しなさい。

【コミュニティ実践専門試験問題】

次の1～12のうち、三つの設問を解答しなさい。(コミュニティ実践の試験問題はP2～P3です)

1 消費者問題は、契約トラブルや情報格差など個人の責任とされがちですが、その背景には個人の生活状況や社会的な要因が複雑に関係している場合もあります。こうした消費者問題と社会福祉との関連について、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

2 社会的包摂という理念は、多様な背景をもつ人々を排除せず、社会の一員として共に生きることを目指す概念である。しかし、精神障害者、依存症のある人、刑務所出所者など、強いスティグマを受けやすい人々にとって、包摂は必ずしも実現されているとは言えない。包摂の社会モデルを理想と現実の両面から検討し、これらの人々への社会福祉的支援のあり方について、批判的視座から論じなさい。

3 社会福祉実践においては、利用者本人の意思を尊重する「意思決定支援」が重視される一方で、「パターナリズム(父権主義)」も現実的に存在する。

この両者はしばしば緊張関係にあるとされるが、社会福祉実践において意思決定支援とパターナリズムは一般的にどのように関係づけられているか、具体例を交えて説明しなさい。

4 教師期待効果(ピグマリオン効果)について、代表的な実験例を挙げながら説明しなさい。

5 心理学研究における量的研究と質的研究のメリット、デメリットについてそれぞれ説明しなさい。

6 交互作用について説明しなさい。必要に応じて図を使用してもかまわない。

【コミュニティ実践専門試験問題】

7 なぜ近年、公共空間の活用が積極的に行われているのか、その背景について簡潔に論述しなさい。

8 これからの日本が直面するであろう、まちづくりの課題を2つ取り上げ、それぞれについて、課題の内容、課題によるまちづくりへの影響、課題を乗り越えるための解決策を、簡潔に論述しなさい。

9 各地でまちのにぎわいづくりが盛んに行われているが、あなたの考える「まちのにぎわい」とは何か、具体的かつ簡潔に論述しなさい。

10 社会における高齢化とはどのような現象なのかを説明した上で、高齢化の何が問題なのかを説明しなさい。

11 地域包括ケアとはどのようなシステムであり、高齢者への生活支援としてどのような意義・役割があると考えられるのかを論じなさい。

12 あなたが関心のある社会福祉領域のテーマについて、「社会的排除」と「福祉ニーズ」の2つの概念を用いて説明をしなさい。

【フィールド文化専門試験問題】